



3年生 いよいよセンター試験出願

9月29日からの大学入試センター試験出願開始に備え、本校3年生も出願準備中です。

平成27年度センター試験は来年1月17日(土)・18日(日)の2日間で実施され(下表参照)、本校の出願者は、鹿児島大学会場で受験する予定です。



3年合同LHRの様子

センター試験はマーク式の試験で、国公立大入試の一次試験としての役割のほか、私立大入試にも利用されています。昨年度は全国で約57万人が志願しました。

9月3日の3年合同LHRでは、今後受験生としてどのように入試に臨むべきかについて話をしました。

自分の志望校のことをよく知り、半年後に自分が到達しなければならぬレベルを知った上で、具体的な目標を設定して「考える」勉強をすることが大事であるということ、きつい受験勉強や厳しい現実から逃げずに、決してあきらめないこと、学年全員で学習の雰囲気をつくっていくことなど受験生としての心構えを、3年生は真剣な表情で聞き入っていました。その後、センター試験志願票の記入や受験料納付の方法について説明しました。大学入試センターによると、

平成27年度センター試験時間割

平成27年1月17日(土)	地理歴史	9:30~11:40(2科目受験)
	公民	10:40~11:40(1科目受験)
	国語	13:00~14:20
(土)	外国語	【筆記】 15:10~16:30
		【リスニング】 17:10~18:10
平成27年1月18日(日)	理科①	9:30~10:30
	数学①	11:20~12:20
	数学②	13:40~14:40
	理科②	15:30~17:40(2科目受験)
18:40~17:40(1科目受験)		

例年、誤記入や記入漏れが多く、その数は1000件以上にのぼるそうです。出願前の確認作業はとくに念入りに行う必要があります。

本校では一括して10月2日(木)の大安の日に出願する予定です。

「静」の後期 進路研究を深めよう!

— 1・2年生 —

学校行事の多かった「動」の前期が終わりました。10月1日からは、落ち着いて学習に取り組める「静」の後期です。後期の1・2年生の課題は、

1年生 「文理コースの選択」

2年生 「志望校の決定」です。

1年生にとって、今回の文理コースの選択は、高校入学後初めての大きな決断です。納得した選択ができるよう、進路研究を十分に深め、周囲と相談しながら検討していきましょう。

また、2年生の秋は、志望校を絞り込む時期になります。昨年度のスタディーサポートの集計(ベネッセ)によると、全国の成績上位者の6割以上が、この時期に「自分で本などを調べ、先生や周囲に相談した」と答えています。「将来の夢」や「行きたい大学」など、明確な目標を見つけることは、学習意欲の向上に繋がります。落ち着いて勉強や読書に集中できる「静」の後期。この時期に自分の将来について、じっくりと考えましょう。

3年生 後期放課後補習 始まる

3年生を対象に、後期放課後補習が9月17日(水)から始まりました。2次試験対策を含めた総合力養成を目的とした補習で、今年度は、それぞれの生徒の希望する進路に応じて、講座制で受講しています。放課後補習は11月21日まで実施されます。

3年生の感想を一部紹介します。

『放課後補習で志望校の過去問を解いて、自分の課題が明確になった。』

『放課後補習で、忘れていた内容を思い出し、とても為になった。』

来年の春に合格を勝ち取るために、頑張りましょう。

【3学年部から】

第52回体育祭を終えて

— 感動をありがとう そして、次、進む道は… —

3学年主任 下津健雅

「紅軍500点…」

ワー・キャーという歓声で実際の得点は聞こえませんでした。500点台という得点でその瞬間、3年生の優勝、昨年度に続き2連覇が決まりました。そして、応援の部も含め完全優勝の2連覇。3年生のみんなに心からおめでとうと言いたいです。雨の降る中、残念ながら午後からの競技を全て実施できず、3年生の走りや競技する姿を見ることができませんでしたが、3年生の喜び顔を見ることができてとても満足でした。

思い起こせば、この学年は2年前の体育祭の1年生の時からそういう活躍をする予感がありました。選手の活躍は当然ながら、応援団を中心に学年一体となって統率のとれた演舞、そして全生徒のイケイケコールで応援をする一生懸命な姿。他学年の先生方から「今年の1年生は違う。革命が起きた。」と言われ、少し大袈裟だと思いましたが、素直な感想だったのでしょう。2・3年生とは得点で差がつかれましたが、次年度に少し期待を残して1年目の体育祭が終わりました。

昨年は応援団もパネルも仕上がりは順調で、選手も応援する側も絶好調で体育祭当日に臨むことができました。競技の部、パネルの部そしてなんと応援の部全ての部門で1位、完全優勝を勝ち取ることができました。あまりにも見事な勝ちだったため、今年度の体育祭から種目の得点などが少し変更になったのは仕方ないことだと思いました。



そして今年、応援団やパネルも問題なく進んでいたようです。しかし、毎年、3年生は部活動の引退を機に、受験勉強に切り替えていくため、体を鍛えることがなくなりますので、当然ながら体力は落ちていきます。団体練習の時に「3年生の体形が変わった。部活動を引退して、もう鍛えていないので…」と体育科の先生から聞いたと

きは競技の部で1位は取れない、仕方がないと思っていました。なので、体育祭終了後は「受験勉強で頑張っているから…」ということで励ましの言葉でも掛けてやろうと考えていました。

最初のエール交換では、例年、3年生のパフォーマンスで3年の応援団長が相手をやっつけて倒すシーンがあります。今年も同様のパフォーマンスがありました。最後は倒した相手に団長自ら手を差し伸べてお互いに称え合うワンシーンと団長の優しさにみんなが感動し、一気に体育祭が盛り上がりました。その後、競技が始まると、どの学年も一生懸命に取り組む中、個人の競技ではやはり体力面で1・2年生には勝てないだろうから、団体競技でのバトンパスなどの団結力で勝てれば良いと期待していました。しかし、降雨の中バトンを落とし、パスも上手くいかず、さらには転倒する生徒が多くいました。かなり厳しい状況の中でしたが、クラス対抗リレーではムカデ競争や二人三脚で見事な走りを見せ上位に入り、今まで得意な競技の縄跳びでも健闘し、さらに学年対抗綱引きでは男女ともに1・2年生を全く寄せ付けず1位を勝ち取ることができました。さすがチームワーク・団結力の3年生の勝利でした。個人的には朝日子魂で、昨年度新記録の1・2位に入賞した2人を含む3人の選手に期待していましたが、やはり体力的にきつかったのでしょうか、残念ながら2・3位でしたが、出場した3人とも立派な活躍でした。(今回、新記録を出した1年生も凄い！)

ついに、最後の応援団の演舞披露。気合の入った掛け声とともに統率のとれた演舞。3年間のいろんな思いが詰まって、終えた顔には満足感が見えました。

そして、閉会式。競技・応援の部の結果発表。紅軍の優勝、再び優勝旗が団長の手に…。「3年生のみんな、よく頑張った、本当におめでとう。」体育祭終了後に、パネルの前でみんなと一緒に撮った写真は最高の笑顔で写っていることでしょう。

みんなで勝ち取った優勝はこれからの受験勉強にも生かされるはず。自信をもって取り組んで欲しいと思います。

受験も団体戦 チーム50期で目指せ 限界突破！



【2学年部から】

体育祭はお疲れ様でした。競技得点に関してはちょっと残念な結果でしたが、応援団の健闘により、学年の団結もいっそう高まったことと思います。

早いもので、前期も終了です。2学年も半年終わったわけです。ということは、高校生活全体も半分終わったということですね。折り返し地点です。人間、往路より復路の方は短く感じるものです。おそらく、残り半分、1年半の高校生活はますます短く感じられることが予想されます。ではここで、自己診断して下さい。

- ①0限の開始前、7時30分には教科の準備をして着席できているか。
- ②授業開始時には教科書、ノート、その他必要な教材がすべて机の上に揃えてあるか。
- ③C-pass、ドリプロ、課題の提出は期限内にできているか。
- ④予習および課題に関し、手抜きせず誠実に取り組んでいるか。
- ⑤自分の志望大学を明確にイメージし、研究しているか。

特に⑤について、夏休みにオープンキャンパスへ参加した人の感想を紹介します。参考にして下さい。

九州大学理学部化学科 Hさん

1日目の夜は中央高校出身の九大の先輩の話を聞くことができました。パンフレットには書いていない様々なお話をしていただきました。2日目のオープンキャンパス当日は、大学の先生が研究内容について親切に説明して下さい、質問もできて充実した時間を過ごすことができました。一つのテーマを徹底的に研究する姿はカッコいいなと思いました。また、サークル活動やバイトなど、大学生活を楽しんでいる学生の方々の姿を見て私もそうなりたいと思いました。参加できて本当に良かったです。

鹿児島大学農学部生物資源化学科 Iさん

全体会で農学部長のお話を聞いて、「この1日を大切にしよう」と思いました。農学部についての詳しい情報をスクリーン上でとてもわかりやすく説明して下さい、興味がわきました。また、大学の先生の講話を聞いて、自分の将来についてもしっかりと考えることができました。そして、実際に自分の手で実験を行うことができた体験入学は、とても楽しかったです。大学生というものは、こんなことをしているのだなあと深く理解することができました。実験のやり方も優しく教えて下さり、とにかくこのオープンキャンパスに参加することができて、本当に良かったです。

九州大学文学部人文学科 Sさん

文学部人文学科文学コースの国文学研究室を訪問したことが一番印象に残っている。そこには大学院の先輩がいらっやあって、「和漢朗詠集」を元にして話して下さい。非常におもしろい話で、中身のあるものだった。また、その先輩は生き生きとしてとても楽しそうだった。滑らかで内容のある話を、ここに来たら私もできるようになるかも知れないと思った。また私は、大学の先輩方の話を聞いていて、自分の無知をととても恥ずかしく思った。経験を豊かにし、視野を広げていくためにも、今後より大学について考えを深めていきたいと思う。

福岡教育大学教育学部中等教育 教員養成課程社会科専攻 N君

福教大のオープンキャンパスに行ってみて、やる気が出てきました。一番良かったのは、大学説明会で様々な話を聞け、特に教育実習に力を入れていることや、近年教員が不足している都道府県のことなど、驚きもありました。また自分は募集定員のことすらあまり知らない状態だったので、初等教育教員養成課程、中等教育養成課程のいずれが自分にあっているのか、考えていきたいです。サークル活動も見学しましたが、どのサークルもとても厳しそうでした。福教大に受かるよう、今から少しずつ勉強をしていきたいと思っています。

今年度の行事について (予定)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 10月 教育相談 | 11月 進路志望調査 学年PTA |
| 12月 国内体験学習 二者面談 | 2月 合同LHR |
| 3月 先輩と語る会 スタディサポート | |



【1学年部より】

何をすべきか

先日、H先生の話で「だめはだめ」という言葉が聞こえてきました。「してはいけないことをやらない、やらなければならないことはする」ということではないかと思いました。

数年前、NHK大河ドラマで使われた「ならぬことはならぬものです」という言葉が広く使われたことを思い出しました。会津（現在の福島県）の藩校（現在の公立学校のようなもの）で教えられた言葉です。その大河ドラマは、明治維新の動乱期を生き抜き、後に同志社大学を開学した新島襄の妻になった八重の話でした。その原動力になった言葉として使われたのが「ならぬこと…」という言葉でした。数百年前から続く教えのようです。

「だめ」「ならぬこと」に通じるものは、人として生きていくうえで守らなければならないことを意味しているのではないかと思います。人間社会を生きていくうえで大切なものを意味していると思います。

ここで皆さんに考えてほしいのは、「生きていくうえで守らなければならないこと」という言葉を「自分が目指すものを手に入れるためにすること」と言い換えても同じことがいえるのではないかということです。例えば、部活動で勝利を目指す、テストでいい成績を目指す、模試でいい結果を目指す、大学合格を目指す、自分のやりたい仕事につくことを目指す等々、いろいろな「目指すもの」があると思います。これらを実現するために何をしなければならないのか、また何を我慢しなければならないのかを判断し、実行していくことができる人が「手に入れる」栄光に輝くのではないのでしょうか。

鹿児島中央高校生としての「目指すもの」は何でしょうか。毎年9月16日には全国の高校生向けの就職試験が始まります。就職試験のために一生懸命、必要な技能を身につけ頑張った高校生が日本全国にたくさんいます。一方、多くの中央高校生が「目指すもの」に「大学合格」というものがあります。就職試験のための技能は、高校生活の中で何回も検定試験に挑戦することで身につけることができます。その結果は検定に合格した証書としてたくさん手に入れることができます。しかし、大学合格に向けての学力は3年間かけて培っていくものです。そして最後の「大学入試」という試験の時期に1回きりの勝負をすることになります。3年間「やらなければならないこと」「我慢しなければならないこと」を続け、努力を重ねた人が自分の希望を叶えられるのではないかと思います。

1日24時間は全ての人に与えられた自由です。この24時間をどのように使えばいいのか。スマホを使う、動画を見る、友だちと楽しく遊ぶ…。楽しいだけの時間を過ごしていませんか。3年間何かをあきらめ、何かを我慢し、そしてやらなければならないことをしている人が全国にはたくさんいます。毎日4時間も5時間も家で勉強をしている人は全国にたくさんいます。そのような人たちと「大学受験」の勝負をする2年半後、あなたは自分の希望を叶えることができますか？